

由良川流域の 環境問題考えよう!

第1回「由良川フォーラム」開催

本社後援

由良川流域の環境問題について考える第1回「由良川フォーラム」(京都大学フィールド科学教育研究センター・府主催、あやべ市民新聞社など後援)が3日、里町の市中央公民館で開かれた。

森林や農地の荒廃、漁獲量の減少、野生動物による農林産物への被害拡大などが問題となる中、由良川流域の住民や環境問題に取り組む団体、行政がネットワークを形成

し、環境改善のために何ができるのかを模索しようという開催。約130人が来場した。

新潟大学工学部の大熊孝教授が「川の環境を考えよう―縄文の川、弥生の川―」をテーマに講演したあと、舞鶴高専の川合茂教授と府指導林家の小林直人さんが由良川の現状を報告。

続いてNPO法人由良川流域ネットワーク副理事長の町井昌さんと、里山ねっと・あやべ事務



多くの来場者が由良川の環境について考えた(里町で)

局次長の塩見勝洋さん、府漁業協同組合連合会会指導課長の倉幹夫さんが、それぞれの団体の活動報告を行った。今後、府は行政と住民らが話し合う座談会などを開く予定にしている。